

ISO環境法令遵守事項を一覧にまとめた ベストセラー！

ISO環境法 クイックガイド2019

ISO環境法研究会 編

A5判・単行本・460頁

定価：本体3,800円+税

●気候変動適応法、海岸漂着物処理推進法を新規収録。法改正もフォロー！

●省エネ法、土壤汚染対策法、オゾン層保護法等の法改正にも対応！

●複雑な環境規制をわかりやすく解説！

廃棄物処理法における委託契約やマニフェスト、フロン排出抑制法のフロン類引渡しの流れ、土壤汚染対策法の特定有害物質の種類と指定基準等、現場のニーズの高い項目については、よりわかりやすい解説・資料を掲載！

●罰則事項が一目でわかる！

2 環境影響評価法（平成9年法律第81号）

略称：環境アセスメント法

法令の目的等

環境影響評価について国等の責務を明らかにするとともに、環境影響評価の手続その他所要の事項を定め、事業に係る環境の保全について適正な配慮がなされることを確保する

遵守事項	適用条件・ポイント	条項
環境影響評価	事業の実施が環境に及ぼす影響について環境の構成要素に係る環境の保全のための措置を検討し、これが行われた場合の環境影響を総合的に評価する	法2①
対象事業	①第1種事業、②第2種事業のうち実施決定（スクリーニング）を受けたもの（表1）	法2④
事業者	対象事業を実施しようとする者（国の場合は実施担当行政機関の長、委託事業の場合は委託をしようとする者）	法2⑤
計画段階配慮事項の検討	事業を推進する区域（事業実施想定区域）での環境保全上の配慮事項を検討	法3の2
配慮書の作成等	検討結果に関する計画段階環境配慮書の作成	法3の3
第1種事業実施者	配慮書の送付 主務大臣へ送付し、要約書とともに公表 意見収集 関係行政機関、一般から環境保全の見地からの意見収集を受ける	法3の4 法3の7
計画段階環境配慮書	第1種事業の廃止等の公表 計画段階環境配慮事項の実施は、任意で実施することができる 実施する場合は主務大臣へ書面（第1種事業実施者のみ）を提出し、第2種事業実施者は、第2種事業実施者として、関係行政機関、一般から環境保全の見地からの意見収集を受ける	法3の10
事業者	事業の届出	

重要項目は色文字で表示！

知ると便利な豆知識！

～環境法豆知識 その7～

【2018年改正省エネ法、荷主規制を強化へ】

2018年6月に改正省エネ法が成立し、12月に施行した。改正の最大のポイントは、荷主規制の強化だ。本法では、輸送量の多い荷主に計画や実績の報告等を義務付けている。改正法では、このうち荷主の範囲を広げ、ネット・小売事業者も規制対象とした。ネット・小売事業者は、実質的に輸送時の省エネ対策のキーパーソンとなる。しかし、貨物の所有権が無いなど、従来の本法の「荷主」に該当しないという課題があった。そこで、現在の「荷主」の定義を見直し、貨物の所有権に関わらず、契約等により貨物の輸送方法を決定する事業者を「荷主」と明確に位置付けた。さらに、改正法では、到着日時等を適切に指示することのできる貨物の荷受側等を「準荷主」と位置付け、「荷主」の省エネ取組への協力を求めることとした（努力義務）。

◆環境基本法16条の規定に基づく環境基準（抜粋）

【表1】大気汚染に係る環境基準（S48環境庁告示25号、S53環境庁告示38号）

物質	環境上の条件
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下、かつ、1時間値が0.1ppm以下
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m以下、かつ、1時間値が0.20mg/m以下
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下
一酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの範囲内

直近の改正箇所はワク内を色で表示！

物質	環境上の条件
ベンゼン	1年平均値が0.003mg/m以下
トリクロロエチレン	1年平均値が0.13mg/m以下 ※平成30年11月改正
テトラクロロエチレン	1年平均値が0.2mg/m以下
ジクロロメタン	1年平均値が0.15mg/m以下

※平成30年11月、トリクロロエチレンについて基準値が見直され、0.2mg/mから0.13mg/mとされた。

【表2】微小粒子状物質（PM2.5）に係る環境基準（H21環境省告示33号）

実務上で必要な執筆者オリジナルの注釈は※で表示！

【表4】ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁（水底の底質の汚染を含む）及び土壌汚染に係る環境基準（H11環境省告示68号）

物質	環境上の条件
大気	0.6pg-TEQ/g以下
水質（水底の底質を除く）	1pg-TEQ/g以下
水底の底質	150pg-TEQ/g以下
土壌	1,000pg-TEQ/g以下

【表5】水質汚濁に係る環境基準（S46環境庁告示59号）

項目	基準値
カドミウム	0.003mg/l以下
全シアン	検出されないこと
鉛	0.01mg/l以下
六価クロム	0.05mg/l以下

ISO環境法 クイックガイド2019



ISO環境法研究会 編

ISO環境法令遵守事項を一覧にまとめた
ベストセラー！

「環境法改正」の改正事項をわかりやすく解説し、現場のニーズの高い項目については、よりわかりやすい解説・資料を掲載！
「環境法改正」の改正事項をわかりやすく解説し、現場のニーズの高い項目については、よりわかりやすい解説・資料を掲載！
「環境法改正」の改正事項をわかりやすく解説し、現場のニーズの高い項目については、よりわかりやすい解説・資料を掲載！

第一法規

内容現在
2019年1月1日
※一部例外あり

「環境法令検定」
推薦図書！

主要環境法令82法を見やすい一覧表形式で収録。

手間をかけずに罰則や遵守事項を確認でき、スマートな環境管理を実現！

充実した内容と使い勝手の良さで、法令管理作業の効率化をサポートします！



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
http://www.daiichihoki.co.jp

Tel. 0120-203-694
Fax. 0120-302-640

【第1章 基本的事項】

環境基本法／環境影響評価法／公害防止組織法／環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律／環境情報提供促進法／環境配慮契約法

【第2章 地球温暖化・省エネルギー・フロン】

温対法／気候変動適応法／省エネ法／建築物省エネ法／再生可能エネルギー特別措置法／オゾン層保護法／フロン排出抑制法

【第3章 大気汚染】

大気汚染防止法／自動車NOx・PM法／オフロード法

【第4章 水質汚濁】

水質汚濁防止法／下水道法／湖沼水質保全特別措置法／瀬戸内海環境保全特別措置法／海洋汚染防止法／浄化槽法／水道水源法／水道原水法／水道法／河川法／海岸法

【第5章 土壌汚染】

土壌汚染対策法／農用地土壌汚染防止法／肥料取締法

【第6章 騒音・振動・地盤沈下・悪臭防止】

騒音規制法／振動規制法／工業用水法／ビル用水法／悪臭防止法

【第7章 廃棄物処理】

廃棄物処理法／産業廃棄物の処理に係る特定施設の整備の促進に関する法律／バーゼル法／海岸漂着物処理推進法／PCB処理特別措置法／放射性物質汚染対処特措法

【第8章 循環型社会】

循環型社会形成推進基本法／資源有効利用促進法／容器包装リサイクル法／家電リサイクル法／小型家電リサイクル法／建設リサイクル法／食品リサイクル法／自動車リサイクル法／グリーン購入法

【第9章 化学物質・安全衛生・危険物】

化審法／PRTR法／ダイオキシン類対策特別措置法／水銀環境汚染防止法／毒劇法／食品衛生法／農薬取締法／有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律／安衛法／消防法／高圧ガス保安法／ビル管理衛生法／放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律

【第10章 自然環境・生物多様性】

生物多様性基本法／自然環境保全法／自然公園法／鳥獣保護法／種の保存法／カルタヘナ法／外来生物法／水循環基本法／温泉法／森林法／クレーンウッド法

【第11章 土地利用】

工場立地法／都市計画法／都市公園法／都市緑地法／建築基準法／生産緑地法／景観法／文化財保護法

関連商品

<八訂> ベーシック環境六法

A5判／単行本 定価：本体4,100円＋税

平成30年3月発刊

日本の環境法学界を代表する大塚 直氏、北村喜宣氏、高村ゆかり氏、島村 健氏による編集。

主要な環境法、環境条約、環境条例を一冊に収録したコンパクトな法令集。姉妹書『ISO環境法クイックガイド2018』の参照先として、現場に持ち歩く事のできる小型六法としてご活用いただきたい一冊。

<八訂> ベーシック環境六法

目次

【第1章 基本】

【第2章 地球温暖化】

【第3章 大気汚染】

【第4章 水質汚濁等・土壌汚染】

【第5章 騒音・振動・地盤沈下・悪臭】

【第6章 廃棄物・リサイクル】

【第7章 化学物質】

【第8章 放射性物質】

【第9章 自然保護】

【第10章 国土・土地利用】

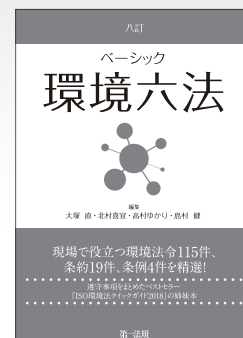
【第11章 エネルギー・資源】

【第12章 その他関係法令】

【第13章 環境基準】

【第14章 条約】

【第15章 条例】



詳細・お申し込みはコチラ

<クレジットカードでもお支払いいただけます>



第一法規

検索

CLICK!